

サイエンスアゴラ出展報告

応募のねらい

SCIENCE AGORA

あなたと創るこれからの科学と社会

◆サイエンスアゴラとは？

主催者：独立行政法人科学技術振興機構（JST）

目的：サイエンスコミュニケーション活動を通してさまざまなセクションが交流を図り、全体として活性化する機会とする。

サイエンスアゴラ2014のテーマ：

あなたと創るこれからの科学と社会



サイエンスアゴラ出展報告

応募のねらい

SCIENCE AGORA

あなたと創るこれからの科学と社会

◆出展する目的 低炭素を通して…



広報

- 認知度向上！！
- ・建設コンサルタント業
 - ・国土総合研究機構
 - ・低炭素マネジメント技術研究会
 - ・3社（CTI、PCKK、NK）



ネットワーク作り

- ・大学や研究機関等の出展者同士の交流
- ・各社3社の若手同士の交流



コミュニケーション能力向上

専門知識がなかったり、知っている言葉の数が少ない子供たち相手に、分かりやすく説明する能力を身につける！！



サイエンスアゴラ出展報告

応募のねらい

SCIENCE AGORA

あなたと創るこれからの科学と社会

科学で世界をこぼれおぼろげに輝かせる

◆サイエンスアゴラ2014出展実施スケジュール

開催日時:2014年11月7日(土)

2014年11月8日(日)

開催場所:東京都台場地区

日本科学未来館7F

サイエンスアゴラ2013の状況:



出典:サイエンスアゴラ2013 開催報告書より

SML
Study group for
Management metho
Landscape society

サイエンスアゴラ出展報告

出展内容

◆体験型ワークショップ

「低炭素のまち」自然エネルギーに
触れて、考えて、つくってみよう！！

まちの模型を用いながら、子供たちと対話して、自然エネルギーについて興味を持ってもらう。

具体的には・・・

- 自然エネルギーの要素模型を用いて、まちのどこに設置するのがよいか考えてもらう。
- 壁面ポスターを用いて、エネルギーについて説明する。
- クイズラリーをしてもらう。ヒントはポスターに記載。

SML
Study group for
Management metho
Landscape society

サイエンスアゴラ出展報告

出展内容 ◆ 模型 どこに置いたらいいかな・・・？



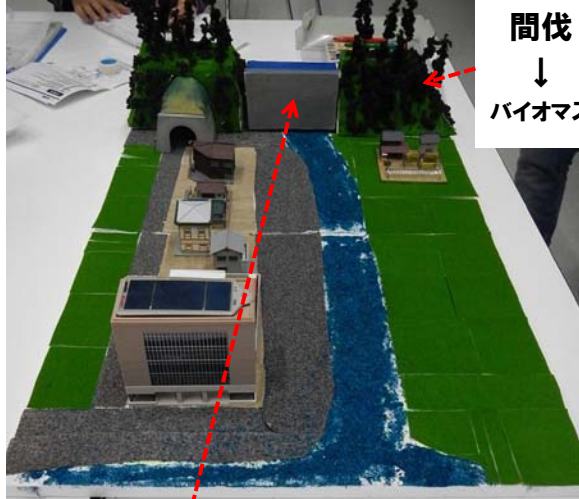
太陽光発電



風力発電



燃料電池



間伐
↓
バイオマス

ダム⇒水力発電



サイエンスアゴラ出展報告

出展内容 ◆ 壁面ポスター



サイエンスアゴラ出展報告

出展内容 ◆クイズラリー

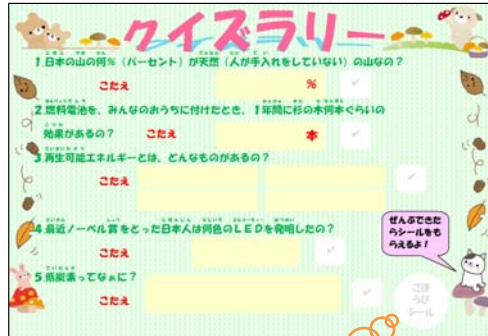


『低炭素のまち』
自然エネルギーに触れて、
考えて、つくってみよう！

「ていたんそ」って
なんだろう？

クイズラリーは
ここから！⇒
(全部できたらお菓子がもらえるよ！)

サイエンスアゴラ SML ROCC



クイズラリー

- 日本の山の何% (パーセント) が天然 (人が手入れをしていない) の山なの？
こたえ _____ %
- 燃料電池を、みんなの車うちに付けたとき、1年間に移の本何年くらいか
減るがあるの？ こたえ _____ 本
- 再生可能エネルギーとは、どんなものがあるの？
こたえ _____
- 最近ノーベル賞をとった日本人は何色のLEDを発明したの？
こたえ _____
- 紙を減らしてゴミを減らすの？
こたえ _____

ぜんぶできたら
お菓子がもらえるよ！

最後までできたら・・・
お菓子和シールがもらえる



SML
Study Group for
Management of the
Low-carbon society

サイエンスアゴラ出展報告

出展内容 ◆リーフレットの配布(子供用)



**建設コンサルタントって
こんなことをしているよ！**

まちづくりをするための
設計や計画を
立てるよ！

自然環境を
大切にしているよ！

プロの「専門知識」
なんだ！

「まちづくり」はみんなが
協力して、思い思いのまちを
つくるよ！

お問合わせ
SML ROCC
国土総合研究機構 事務局
株式会社建設技術研究所 管理本部 事務 担当部長 森
重彦 東京都中央区日本橋浜町2-1-1 日本橋川崎タワー
TEL: 03-3668-4574 FAX: 03-3639-9426
E-mail: taijano.rocc@gmail.com



主な分野はなんだろう？

河川
洪水が起きて川が
はんらんするのを防
ぐために、ダムや橋
梁をつくる計画を立
てるよ。

防災
天候のときにが
け崩れが起きな
いように予防す
るよ。また、地震
に強いまちづくりを計画しているよ。

港湾・空港
船や空機をつな
ぐ計画を立てて
いるよ。

道路
まちとまちをつな
ぐ道路の計画やデザ
インをしているよ。
トンネルや橋の計画
もしているよ。

環境
生き物や森を守
ったり、道路にや
さしいエネルギー
のことを調べたり
しているよ。

まちづくり
まちの開発の計画や、公園の
デザインをするよ。みんなが
住むまちをよりよくなるお手伝いをしているよ。

建設コンサルタントが目指すもの

私たちが目指すもの
人と自然が
仲良く暮らせる社会
地球に
優しい設計技術
安心・安全なまちづくり

サイエンスアゴラ出展報告

出展内容 ◆リーフレットの配布(大人用)

建設コンサルタントってなあに？
安全で快適な社会づくりを実現し続ける
建設コンサルタントからのメッセージ
編集・発行：国土総合研究機構

●建設コンサルタントってどんな仕事です！
建設コンサルタントは、人が暮らしていくために必要な道路や鉄道、ダムや水辺等の計画・設計や、同じの施設を効率的に作るための手帳や図面に描く設計図や、現場での工事管理や安全確保を行う技術者です。
別名、日本の都市や地方公共団体、世界中の国々のパートナーとして、安全で快適な社会づくりのお手伝いをしています。

□建設コンサルタントの
腕のみどころ
2011年3月11日に発生した東日本震災では、多くの人が亡くなりました。または震災間際において甚大な被害を受けました。
まちの再建にあたって、わたしたち建設コンサルタントは、道路や建物、防災避難などの被害状況を、被災後の調査・測量、まちの復興・再建のための計画づくりを、地域と一緒に考えています。
一方、世界に目を向けると、地球温暖化問題や、世界規模での人口増加による水資源やエネルギーの枯渇にみられるような環境破壊などの深刻な問題が発生しています。
建設コンサルタントは、発展途上国をはじめとして、これらの問題に取り組みつつ、人々の生活の一環の向上につながる社会づくりのお手伝いをしています。

□建設コンサルタントの得意な分野
わたしたち建設コンサルタントは、半世紀以上にわたって我が国の社会資本の整備に関わってきました。
例えば、国土の発展に大きく貢献した、鉄道や道路の計画・設計や、川の氾濫を予防する治水の計画、河や谷にかかる橋の設計などは、わたしたちが大変得意とする分野といえます。
最近では、環境改善につながる建築物への緑化推進や新しいエネルギーの活用方策に加え、これまでの知見・技術を海外向けに輸出するなど、携わる分野も広範囲で展開の広がりをもっています。



●建設コンサルタントに関することなら →国土総合研究機構のご紹介→
建設コンサルタントが、今後広く世界中で活躍するためには、みなさまにお手伝いできることを考えている訳ですが、国土総合研究機構です。
国土総合研究機構は、我が国で、最初にできた建設コンサルタントの3つの会社（06 建設技術研究所、日本工業（株）、パシフィックコンサルタンツ（株））によって設立された組織です。

□未来に向けた
建設コンサルタントの考え
国土総合研究機構を組織する3社は、これまでに我が国を代表する建築物・施設等を設計・計画してきました。
近年、我が国では大規模地震の発生が懸念された状況です。さらに、地球温暖化に伴う自然災害の多発が懸念されています。この様な自然環境の変化に対応し、今後の建設コンサルタントの果たす役割は大きく変わります。
あわせて、世界の発展途上国では、未だ社会資本整備が十分でなく、我が国の誇る建設技術も、海外へ輸出することも、さらなる活躍の場が待たれていると考えています。

□これからの世の中が
建設コンサルタントへ望む期待
わたしたち建設コンサルタントはこれまで培った知見・ノウハウを十分に生かしつつ、これからの社会で必要とされる分野でも新たな活躍ができれば、これからの研究をすすめていきます。そして、我が国をはじめ、全世界にわたる貢献をしていくことを目指します。
そのためには、今まで交流の多くなった業界やパートナーとなりうる他産業との連携を通じた取り組みも必要であり、様々な連携を通じて、新しい価値を生み出していくことが期待されます。

■お問い合わせ
国土総合研究機構 事務局
株式会社建設技術研究所 管理本部 人事部 担当部長 橋本 聖子
東京都中央区日本橋浜町3-2-1 日本橋高島町ビル2階
TEL: 03-3668-4574 FAX: 03-3639-9426
E-mail: teitanoo.rocc@gmail.com



サイエンスアゴラ出展報告

出展内容 ◆アンケート実施(大人向け)

来場者アンケート

Q1. あなたの性別を教えてください。
□ 男 □ 女

Q2. あなたの年齢をお答えください。
□ 10歳未満 □ 10代 □ 20代 □ 30代 □ 40代
□ 50代 □ 60代 □ 70代 □ 80代以上

Q3. 建設コンサルタントという仕事を ご存知でしたか？
□ 知っていた □ 知らなかった

Q4. 知っていたという方に ご質問です。知ったきっかけはなんですか？
□ 書籍・雑誌 □ 友人から □ TV・新聞など □ インターネット
□ 公共事業 □ その他 ()

Q5. 今知って、どんな印象を受けられましたか？
□ 大変良い □ 良い □ 普通 □ 悪い □ とても悪い
□ その他 ()

Q6. お子様にも将来建設コンサルタントを勧めたいと思いませんか？
□ とても思う □ 思う □ どちらでも良い □ 思わない □ まったく思わない
□ その他 ()

Q7. 社会インフラ整備に関わる、建設コンサルタントが広く世の中に認知されることについてどう思われますか？
□ とても必要なことだ □ 必要なことだ □ どうでもよい
□ 認知される必要はない □ 認知されたい方がよい

Q8. 私たち建設コンサルタントは、広く社会に認知されることで社会のニーズを積極的に満たし得ることが大得意と誇りを持っています。みなさまの御意見、ご感想などございましたら、ご記入ください。

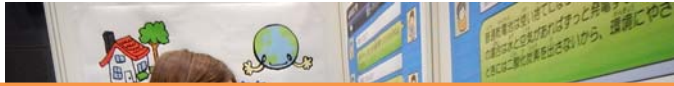
建設コンサルタント業界の
認知度等についてのアンケート
アンケート結果詳細は、後ほど・・・

◆ノベルティ(ボールペン)



サイエンスアゴラ出展報告

出展成果 ◆当日の状況…大盛況！！



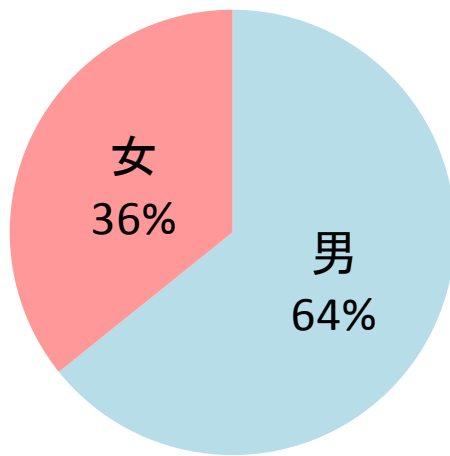
出展ブースへの来場者(2日間)
大人:約100名、子供:約150名



サイエンスアゴラ出展報告

出展成果 ◆アンケート(109名)の結果報告

Q1.性別



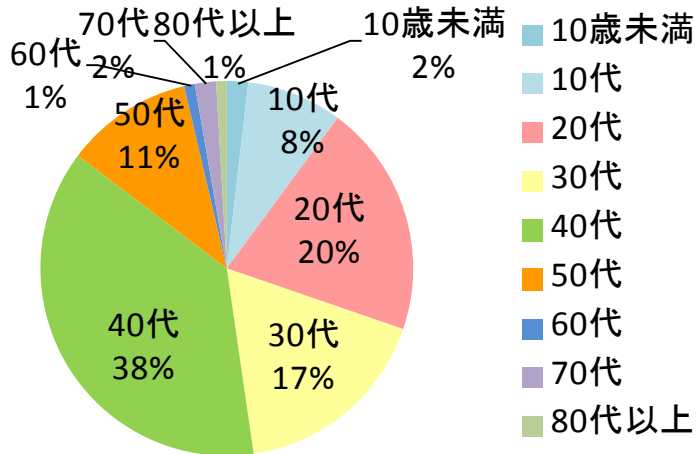
■ 男
■ 女



サイエンスアゴラ出展報告

出展成果 ◆アンケート(109名)の結果報告

Q2.年齢層⇒30~40代が大半



ML
Management
Landscape Society

サイエンスアゴラ出展報告

出展成果 ◆アンケート(109名)の結果報告

Q3.建設コンサルタントという仕事をご存知ですか？

⇒66%がNOと回答

SML
Study group for
Management
Landscape Society

サイエンスアゴラ出展報告

出展成果 ◆アンケート(109名)の結果報告

Q4. Q3YESと回答した方の知ったきっかけは？

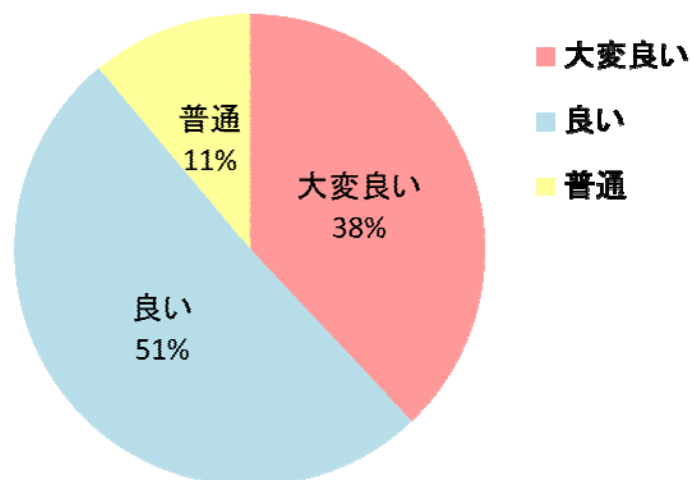
⇒家族・友人やTV・新聞、大学、就職活動中等、
様々であり、とくにどのきっかけが多いという
ことはない。



サイエンスアゴラ出展報告

出展成果 ◆アンケート(109名)の結果報告

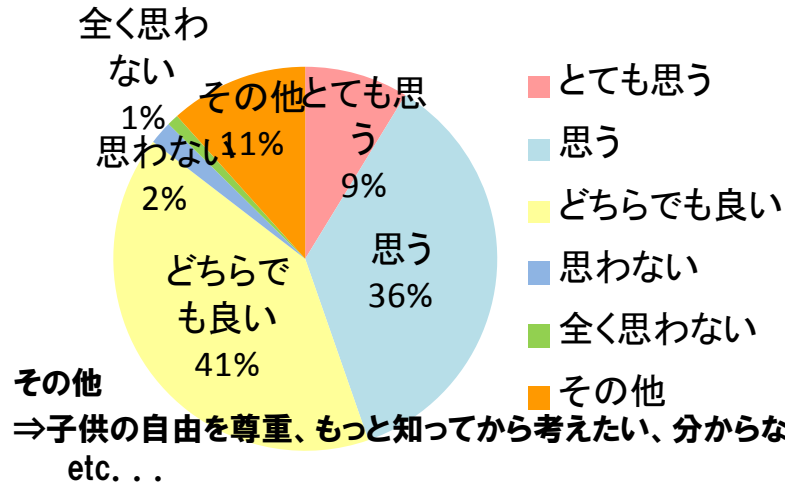
Q5.今回知ってどんな印象を受けたか？



サイエンスアゴラ出展報告

出展成果 ◆アンケート(109名)の結果報告

Q6.お子様に将来建設コンサルタントを薦めたいと思いますか？

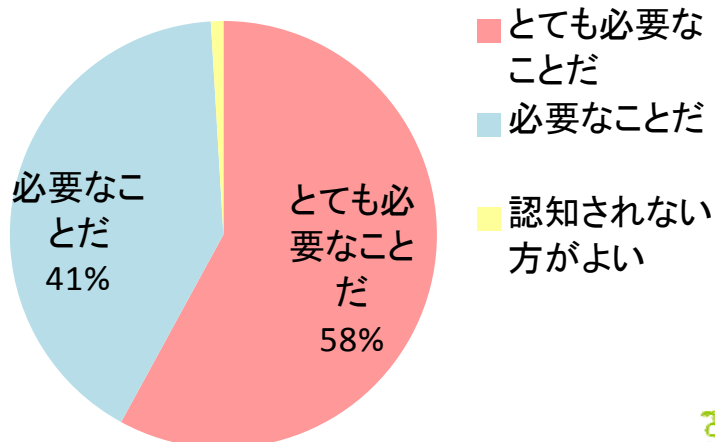


SML
Study group for
Management method
Construction society

サイエンスアゴラ出展報告

出展成果 ◆アンケート(109名)の結果報告

Q7.建設コンサルタントが広く世の中に認知されることについて



SML
Study group for
Management method
Construction society

サイエンスアゴラ出展報告

出展成果 ◆アンケート(109名)の結果報告

Q8.意見・感想(抜粋)

□とてもよくわかった

- みなさんがデザインされたところの工夫を紹介するとわかりやすい。
- 認知度が上がることで、社会からフィードバックが得られると思うので、今回のようなイベント等への出展は有意義だと思います。
- なかなか社会から見えにくい部分のお仕事だと思うので、**うまく広報していく必要がある**と思う。
- 小中高等で、**出前講義**したら認知されるのでは。
- 建設コンサルタントだけでなく、**ほかの分野とも融合**すると結果的に社会と結びつきやすいと思う。
- 行政にダメなものはダメ、無意味なものは無意味といってもらえる会社が増えてもらいたい etc...



サイエンスアゴラ出展報告

参加を終えて

目指す成果 (2014年9月企画案より)

- 子ども世代が低炭素のまちを身近に感じてもらうきっかけをつくる。
◎実際に体験してもらえた◎
- 子どもたちの考える低炭素のまちを理解する。
◎親子で、私たちと◎
- 将来を担う子どもたちに建設コンサルタント業をより多く知ってもらう。
◎大人◎学生◎子供◎
- 建設コンサルタント(CTI、NK、PCKK)の若手と社会の交流の場となるため、今後の繋がりを持つことができる。
CTI7名、NK5名、PCKK5名

サイエンスアゴラ出展報告

皆様 どうもありがとうございました！

1日目

2日目

